

# サステナビリティ教育研究センター 活動報告

## 1. タイトル

小学校焼き芋大会

## 2. スケジュール

日付	参加者	場所
2024年12月4日(水)	1年生・教職員・保護者(複数名)・【学園及び大学職員8名・成蹊大学生7名】	松林
2024年12月5日(木)	3年生・教職員	
2024年12月6日(金)	2年生・教職員	
2024年12月9日(月)	4年生・教職員・【学園及び大学職員5名・成蹊大学生2名】	
2024年12月10日(火)	6年生・教職員	
2024年12月11日(水)	5年生・教職員	

## 3. 活動内容

けやき循環プロジェクトの活動の一つである落ち葉集めにて教職員・大学生・地域の方々と小学生と一緒に集めた落ち葉や、小学校の各クラスで集めた落ち葉、管財課分室が清掃業務の中で集めた落ち葉を活用し焼き芋をつくる。芋を焼く際には、まず、クラスごとに落ち葉を燃やして灰にした「焼き床」を作る作業を行う。焼き床は担当する教職員によって馬蹄形・円・直線形と形が異なり、加えて当日の風向きも考え焼き床の向きを変えるなど各教職員の長年の経験や知恵をもとに作られる。また、一度濡らした新聞紙で芋を包んだ後にアルミホイルを巻いて、しっとりとした食感になるように工夫をしているクラスもある。けやきの落ち葉をどんどん燃やして芋が隠れる位の厚さまで焼き床が完成すると児童が芋を投入し、再度落ち葉を積み上げて燃やしていく。芋を投入してから約2時間後、焼き芋が完成する。出来上がってすぐのホクホクの焼き芋を食べている時の児童の表情はとても微笑ましい。

## 4. 期待される成果と今後の課題

焼き芋大会の魅力は、児童と学生や教職員が交流しながら集めた学内のけやきの落ち葉を燃やして芋を焼いている点、芋を焼き終わった後に残った灰を肥料として畑に撒き作物を育てることで「けやき循環」を行っている点、また、近年都市部では行われることのない「たき火」というものを児童たちが実際に体験できるという点である。

児童にとってもワンキャンパスという成蹊学園の利点を生かして様々な世代と関わりを持つ大変貴重な機会である。

今年度も管財課分室で長期間にわたり集めていただいた大量の落ち葉を使用することで、滞りなく開催することができた。この場を借りて感謝申し上げたい。授業中や就業中に焼き芋大会を行うため致し方ないことではあるが、参加できた学生・職員の人数が少なく、幅広い世代での協同活動という点では満足のものではなかった。

一昨年までの近隣住民の方からの苦情を踏まえて、今年度も事前に「近隣住民への周知文の投函・ホー

ムページでの周知)」および「事前に武蔵野市役所へ出向いての説明」を行った。当日の対策として、昨年度同様に煙が滞留しない晴天のみ行うことし、焼き時間の短縮や焼く落ち葉の量を少なくするために投入する芋の大きさや本数制限を行った。対策を行ったことで学校や武蔵野市への苦情連絡等は昨年度から無くなり、今年度も天候に恵まれ、開催ルールに則って開催をしたため、大きな問題なく開催することができた。来年度も引き続き同様の対応を行いながら実施していきたい。



以上